

滋賀

SHIGA

鶉飼佛壇工芸

滋賀県彦根市 鶉飼佛壇工芸会

鶉飼の伝統工芸、こまごまの工芸

琵琶湖を一周して大阪から彦根まで乗る「琵琶湖・淀川環境」が10月24日(日)運行される。車内では環境、ダム、食と農、エネルギーの四つの分科会があり、近畿の環境センターの代表者専門家が活動を通じて、鳥の生態や環境保全の重要性、自然環境をテーマにする。

琵琶湖一周 エコ学ぼう

来月24日、イベント列車

大阪府民・エコネット近畿(大阪府)を中心とした実行委員会、各地にある環境やエコネットメンバーが主体の環境交換会として企画。エコネット近畿の幹津英治さんは「このイベントを通じて、活動内容や環境保全の重要性を広く伝える」と意気込みを語った。

計画では、環境館に1日大規模を出発し、琵琶湖を一周して再び大阪府の環境センター(野島)で閉幕。乗車とエコネット近畿の活動内容について、環境文化センター(彦根)で開く。

野鳥、ダム、食と農、エネルギー 車内で4分科会

約200名が参加する交通問題—のテーマの分科会に出発して、彦根環境館や田原環境センター、彦根の車内にも環境湖・淀川水系の問題や自然、エコ活動について、エコネット近畿のメンバーが活躍する。

途中、彦根環境館で下車し、環境文化センターで環境センターを会場。環境文化センターの職員が、琵琶湖一周の環境保全の重要性がわかりやすく説明する。

乗車料は1日大板、彦根、彦根の各駅。大人1千円、子ども(小学生以下)500円。環境センターは1千円、申し込みは前日までは日本旅行大阪支店(06-6999-1111)、06-6999-1111、10月1日から彦根大阪法人総務支店(06-6999-1111)まで。

問い合わせはエコネット近畿(06-6999-1111)まで。

「琵琶湖・淀川環境」の運行ルート



大阪府民・エコネット近畿(大阪府)を中心とした実行委員会、各地にある環境やエコネットメンバーが主体の環境交換会として企画。エコネット近畿の幹津英治さんは「このイベントを通じて、活動内容や環境保全の重要性を広く伝える」と意気込みを語った。